第6章

【問題6-1】①：（ア）正（イ）正

ア）問題文の通り。
イ）問題文の通り。

【問題6-2】③：（ア）誤（イ）正

ア）株主資本以外の項目は、変動事由ごとではなく純額で表示される。
イ）問題文の通り。

【問題6-3】②：（ア）正（イ）誤

ア）問題文の通り。
イ）自己株式は株主資本に含まれる項目であるため、取得および処分は相殺せずに変動事由ごとに表示される。

【問題6-4】①：ア

ア. 株主資本の金額に影響を及ぼさない。
イ. 株主資本の自己株式の金額に影響を及ぼす。
ウ. 株主資本の利益剰余金の金額に影響を及ぼす。
エ. 株主資本の利益剰余金の金額に影響を及ぼす。
オ. 株主資本の資本金、資本剰余金の金額に影響を及ぼす。

【問題6-5】②：5,300

	株主資本		
	～	利益剰余金	～
当期首残高	×××	5,000	×××
～			
剰余金の配当		△500	
親会社株主に帰属する当期純利益		800	
～			
当期変動額合計		300	
当期末残高	×××	5,300	×××

＊配当額500の10分の1にあたる50を利益準備金として積み立てる必要があるため、繰越利益剰余金を550取り崩して利益準備金を50積み立てることとなるが、繰越利益剰余金も利益準備金も利益剰余金に含まれるため、剰余金の配当による利益剰余金の変動額は500となる。

繰越利益剰余金	550	／ 未払配当金	500
		／ 利益準備金	50

© 2024 会計ショップ